



経堂バプテスト教会

教会短信

2016年7月10日

No. 69

牧師 間瀬 善彦

昨年沖縄に行ったとき、銃剣とブルドーザー、という言葉を目にしました。阿波根昌鴻^{あはごんしょうこう}著「米軍と農民」(岩波新書)を読むと、かつての激戦地、沖縄伊江島で、米軍占領後は島の6割を強制的に軍用地として取り上げられ、爆撃・落下傘降下などの演習地として使用されたことがわかります。耕地を奪われた島の人びとは、生きるためにやむなく立ち上がり、米軍を相手どって根気のいる長い必死の闘いを続けざるを得なかったのです。米軍は、まさに銃剣を突き付けて土地を取り上げ、軍用地とするためにブルドーザーで家々を押しつぶしていったのです。

1955年アメリカで、1人の黒人女性が、バスの中で白人に席を譲らなかったという理由で逮捕された事件をきっかけに、「バスボイコット運動」が起こりました。それは差別され抑圧された黒人たちが立ち上がり、自分たちの人間としての自由と権利、そして平等を勝ち取るための長い公民権運動の始まりでした。その運動を非暴力で導いた指導者がキング牧師でした。彼は、逮捕・投獄され、さまざまな妨害や誹謗中傷にあっても決してあきらめず、粘り強く非暴力を貫いたのです。

聖書、創世記の中に、主人に捨てられて荒れ野をさまよい歩く哀れな母と子の物語があります。彼らはずいに食べるものがなくなり、母ハガルは子が餓死するのを見るに忍びず、そっと木陰に寝かせて祈っていました。その時、神は彼女に向かって「ハガルよ、どうしたのか。恐れることはない。神はあそこにいる子供の泣き声を聞かれた」(創世記21:17)と言われたのです。生きていくために何の手立てももたない哀れなこの母と子に向かって、神は荒れ野に泉を沸き上がらせて養われたのです。

米軍によって土地を奪われた沖縄の農民は、その抵抗運動を、まさにキング牧師のように非暴力によって、行いました。キング牧師が夢見、阿波根昌鴻さんが夢に描いた理想の世界は、いまだ実現していません。差別はなくなるどころか新たな差別を生み出しています。しかし、神は「恐れることはない。神は…子供の泣き声を聞かれた」と約束してくださいませ。小さな子供の声さえも聞いてくださる神は、わたしたちの叫びをも聞いてくださるお方なのです。そのことを信じ、大胆に神に向かって祈り求める者となりましょう。

神さまが与えてくださった子供

私には4歳になる息子がいます。電車・車が大好きで、毎日プラレールや図鑑を見て遊んでいます。この4月から幼稚園に入り、今までとは違う環境の中で少しずつ園生活にも慣れていき、仲良しのお友達もできてきて楽しく過ごしています。

私は結婚してから、なかなか子供に恵まれず、ある時期から病院に通いながら治療を続けていました。不妊治療は経済的、精神的、身体的にかなりの負担がかかりますから、その期間はとても長く感じられ暗闇をさまよっている様でした。時には平常心を保てず、何度も神様に「なぜですか？」と泣き叫んだこともありました。祈ることに疲れ果て、願う事さえできなくなっていました。

そんな時、旧約聖書サムエル記の中にハンナという不妊の女性がいた事を知りました。ハンナはその時の自分の姿に似ていました。彼女は、激しく泣きながら、悩みを嘆いて神に祈り、神の御前に心からの願いをしました。神は、その様な彼女を御心に留められ、後に男の子を授けられました。私はこの聖書の箇所にとっても励まされ、もう一度、心から神にすべてを委ねてみようと思ったのです。きっと神が道を開いてくださることを信じて。それから、私は結婚6年目にして待望の子供を授かることができました。

今、振り返ってみると、神様は私たち家族にとって一番ふさわしい時期に息子を授けてくださったと思います。息子も私も共に良き友達に恵まれ、毎日充実した日々を送っています。「神のなされることは皆その時にかなって美しい」（口語訳、伝道の書3章11節）。今はこの聖書の箇所が、私なりに理解できたように思います。

育児は簡単な事ではありません。悩みや不安もありますが、これからも神にすべてを委ねつつ感謝を持って子育てを楽しんでいきたいと思っています。



pixta.jp - 18273091

N. Y

マザー・テレサ 愛のことば

わたしたちは忙しすぎます。
ほほえみを交わすひまさえありません。
ほほえみ
ふれあいを
忘れた人がいます。
これはとても大きな貧困です。

☆本の紹介

りぼん・ぷろじえくと『新・戦争のつくりかた』（マガジンハウス）

この本は、わたしが、今、子供から大人まで、すべての人に読んでもらいたいと思っている絵本です。10年前にこの本に書かれていたことが、今まさに起こっているのです。10年前に今を予言していた本であると、ネットや新聞で話題になり、取り上げられています。

本の帯には、次のように書かれています。

「よくよく考えれば、『平和』の反対語は『戦争』じゃなくて『ペテン』だとわかります。ぼくらがペテンにひっかかるところから、もう戦争は始まっています」。

この本には、国の指導者たちがいかに巧妙に国民をペテンにかけて、戦争のできる国にしていくかを順序立てて、イラスト入りでわかりやすく教えてくれています。

2004年に一度発行された本の改訂版として、この本は2014年に発行されました。この本の後半には、この本の内容を裏付ける資料として、地図と年表と法律集が載せられています。この3つの資料を合わせてこの絵本を読むと、本の内容が本当に良くわかります。

また、この本の内容は、ユーチューブの動画で見ることができます。約15分位のアニメーションです。日本の国が再び戦争のできる国になりませんように、目を覚ましていきましょう。

聖書を学ぶ会

- 牧師から詳しく聖書を学びます。
- 讃美歌も歌い楽しい会です。

毎週火曜日 午後1時30分～2時30分

聖書研究・祈り会

- 静かな夕べに聖書を学びます。
- 共に祈り合います。

毎週水曜日 午後7時30分～8時30分

教会学校（幼児科）

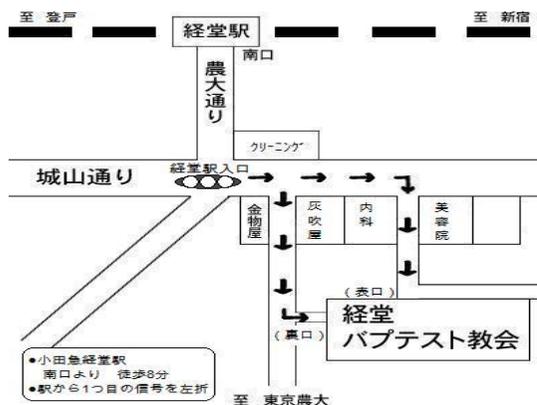
- かわいい讃美歌を歌って、聖書のやさしいお話を聞きます。お祈りもします。

毎週日曜日 午前10時～10時20分

教会学校（成人科）

- 礼拝の中で、牧師のお話を聞いて、感想や意見を述べ合います。わからないところは質問もできます。

毎週日曜日 礼拝後



経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3427-2352

※当教会はプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一協会などとは異なります。